

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイケアいずみ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 6日 ～ 2025年 2月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26 (回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2025年 2月 6日 ～ 2025年 2月 21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに合わせた支援（スケジュール、コミュニケーション手段等）を行っている点です。	子どもができないこと、苦手なところに注目するのではなく、子どもの興味関心や得意なところを伸ばしていけるように意識しています。また、子ども一人ひとりの個性を尊重し、成功体験を積み重ねられるような関わりを大切にしています。	定期的にカンファレンスを行い、より良い支援につながるよう努めて行きます。
2	保育の職員だけでなく、専門職との連携をすることで日々の子どもたちの発達につながる支援を取り組むことができる点です。	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、看護師、心理士と子どもたちに必要な支援について話し合うことで、日々の保育で取り組めることを取り入れております。	引き続き取り組みを行い、他の専門職と子どもの発達について共有した上で各ご家庭での支援にも繋るよう努めて行きます。
3	個別支援計画の見直しを年3回行っている点です。	半年に一度の見直しでは、子どもの変化や支援の内容を十分に把握できない可能性があるため、年に3回の懇談の機会を活用して個別支援計画の見直しを行っています。その際、家庭での日頃の様子を丁寧に聞き取り、支援に反映させるよう努めています。	保護者の方とは、おたより帳でのやりとりに加え、必要に応じて面談の機会を設けられるよう努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が不足している点。	幼稚園、保育園、こども園との交流機会を持てておらず、地域との交流を持つためにはバス移動になることや環境の変化、多人数による集団活動が、子どもたちにとって混乱の要因となる可能性があるため、積極的な交流に至っていません。	退園した園児の移行支援を通して築いた関係を大切に、当施設から積極的に地域との関わりを持つことが重要だと考えています。 また、集団活動を行う際には、子どもたちの混乱を最小限に抑えるため、地域の園の先生方と情報を共有し、事前の配慮や調整を行うことが必要だと考えています。
2	保護者同士の交流機会が少ない点。 父母の会や保護者会、きょうだい向けイベントなど、保護者や家庭を対象とした支援の場が十分に設けられていません。	現在、保護者会を設けておらず、今年度は保護者研修の機会も設けていませんでした。	来年度は保護者研修会を開催し、支援に対する理解を深めていただくとともに、参加された保護者同士の交流や家庭での様子や子育ての悩みなどを話し合える場を設ける予定です。
3	保護者が保育の様子を見学することが難しく、日常の活動の様子を把握しづらい点。 通信やWeb、SNS等を通じた情報発信が不十分であることが背景にあります。	インターネットを利用した写真販売や各クラスで保育の様子をファイルにして来所された時に見れるようにしているものの、公式ホームページやSNSなどを活用して、日々の様子を発信する取り組みは行っていません。	SNS等を活用することで、保護者が日常の活動を把握しやすくなります。ただし、個人情報保護の観点から慎重に検討し、必要な配慮を講じたうえでの運用が必要だと考えています。